

一般社団法人北海道ブックシェアリング
平成 28 年度活動報告書

平成 29 年 3 月 1 日

本稿は、一般社団法人北海道ブックシェアリングの平成 28 年度の活動について報告しています。

- 代表理事・理事について 本年度は理事の変更はありません
代表理事 荒井宏明 札幌大谷大学社会学部非常勤講師
理事 阿部俊亮 くしろブックシェアリング代表
理事 堀 直人 江別市議会議員・NPO 法人北海道冒険芸術出版事務局担当理事
理事 千葉正和 NPO 法人札幌チャレンジド事務局員・NPO 法人日本自治 ACADEMY 理事
理事 橋本正彦 Community Hub 江別港代表・NPO 法人えべつ協働ねっとわーく理事

- 評議員について 本年度は評議員の変更はありません。
評議員 森 雅人氏 札幌大谷大学社会学部教授
評議員 河西邦人氏 札幌学院大学経営学部教授
評議員 高尾広通氏 北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツビジネス専攻准教授
評議員 菅野耕一氏 元苫小牧市立中央図書館館長

- 理事会
平成 29 年 2 月 17 日に理事会を実施し、「平成 28 年度活動報告」「平成 28 年度活動計算書」「平成 29 年度活動予定」「平成 29 年度活動計算予定書」及び事業成果品等が精査・承認されました。

- 総会・ボランティア会総会
平成 29 年 3 月 18 日（予定）に総会・ボランティア会総会を実施し、「平成 28 年度活動報告」「平成 28 年度活動計算書」「平成 29 年度活動予定」「平成 29 年度活動計算予定書」及び事業成果品等が精査・承認されました。

- 評議員への報告・コメント
平成 29 年 3 月 20 日（予定）に「平成 28 年度活動報告」「平成 28 年度活動計算書」「平成 29 年度活動予定」「平成 29 年度活動計算予定書」及び事業成果品等を評議員へ報告し、精査のうえ、コメントをいただきました。

- 活 動

- 1. 再活用図書による読書環境の整備支援事業

一般家庭や企業・団体から不要になった図書の提供を募り、クリーニングや補修、選別を経て、必要としている団体に提供しました。毎週土曜日の午前 10 時～午後 2 時に「札幌市図書再活用ネットワークセンター」（厚別区）で定期活動を実施。毎回 8～12 人のボランティアが参加しました。

- ・活動回数 50 回
- ・参加ボランティア数 のべ約 500 人
- ・集まった図書冊数 約 3 万冊
- ・提供した団体数 15 団体・施設（放課後デイケア 7 施設、士別市内保育園、焼尻児童会館、追分児童会館、ちえりあ、大雪青年の家、ねっこぼっこの会、木育施設、千歳まちライブラリー、石巻赤十字病院内託児所、石巻市大谷地保育所）
- ・提供した冊数 約 6000 冊

2. 北海道の無書店自治体を走る本屋さん事業

実施概要

【目的】 当事業は無書店自治体における「これからの本のあり方」を探ることを目的に、移動書店車で定期的に自治体を訪れ、その反応をデータ化するとともに、人的交流のなかから「本のある場所づくり」に向けた意見交換や機運づくりを進めていく。

【手法】 移動書店車に新刊の絵本・児童書約 200 冊と、古書の文庫・一般書 600 冊の合計 800 冊を積み、各自治体で月に 1 度（主に土曜日）、営業時間を午前 10 時から午後 3 時までとした移動書店を実施する。また大型絵本の読み聞かせや、本のカバーを使った手作りバッグ講座を行う。本事業は 2 年にわたって実施し、今年度は「暮らしの中にさりげなく存在する書店の存続の可能性を探る」をテーマとし、シンプルな臨時書店として展開。次年度は「非日常の存在としての歌舞く書店の可能性を探る」をテーマとし、飲食やさまざまな物販、出し物など「多様な接続性」を書店に取り込む形で展開する。本事業は北海道新聞社の協力をいただき、各町村の道新販売店から役場や商工会に繋いでいただいた。

【実施記録】

●喜茂別町（後志総合振興局）

第 1 回 4 月 17 日（日） 第 2 回 5 月 21 日（土） 第 3 回 6 月 18 日（土）
第 4 回 7 月 16 日（土） 第 5 回 8 月 27 日（土） 第 6 回 9 月 24 日（土）

●妹背牛町（空知総合振興局）

第 1 回 5 月 7 日（土） 第 2 回 6 月 11 日（土） 第 3 回 7 月 2 日（土）
第 4 回 8 月 7 日（日） 第 5 回 9 月 10 日（土） 第 6 回 10 月 15 日（土）
第 7 回 12 月 17 日（土）※屋内開催

●西興部村（オホーツク総合振興局）

第 1 回 6 月 4 日（土） 第 2 回 7 月 23 日（土） 第 3 回 9 月 17 日（土）

●鹿部町（渡島総合振興局）

第 1 回 8 月 28 日（日） 第 2 回 9 月 25 日（日）

【巡回自治体の概要と反応】

■喜茂別町（きもべつちょう）

同町図書室横の広場で実施。1 日あたりの平均来場数は 50 人。売り上げ平均は約 6,000 円。小中学校の学校図書館を視察し、意見交換を実施。また会場にて町長、教育委員会職員、読み聞かせグループ等との意見交換を実施。町立図書室が高齢者の読書意欲に応えられていないことや、書店がないため「子どもの読書との出会い」が育ちにくいという課題を共有する。今後、予定されている新図書室をどう形づくりのか、引き続き注目していきたい。

■妹背牛町（もせうしちょう）

幹線道路に面した道新販売店の敷地内で実施。一日あたりの来場者数は約 90 人。売り上げ平均は約 11,500 円。妹背牛町での開催は人の集まりが一番多く、また滞在時間も長い。来場者から探書の依頼や、地元から「本の交換市を開きたい」などの相談、地元の祭りへの「走る本屋さん」の参加要請など、さまざまな反応があった。祭りでの新刊絵本は予想を上回る売り上げだった。妹背牛町では町の配慮もあり、冬期実施のための会場を用意していただいた。常設の書店の可能性が最も高い自治体と感じた。

■西興部村（にしおこっぺむら）

同町図書室前の広場で実施。1 日の来場者平均は 60 人。売り上げ平均は約 7,000 円。読み聞かせに対する「子どもの興味」「おとなの関心」がとりわけ高い。読書環境の充実と読書意欲の高さで定評のある「オホーツクブロック」であることの影響がうかがえる。また、図書室の新刊が充実しており、リクエスト本に対する反応も良いことから、この村では、図書室が書店の機能を兼ねており、常設書店の必要性は低いと感じる。ただし、図書や読書の多様性を持つためにも、外部からの仕掛けが必要と思われる。

■鹿部町（しかべちょう）

毎月第4日曜日に鹿部間歇泉公園内で実施されている観光事業「しかべわくわくサンデー」のイベント内で実施。1日の平均来場者は約150人。売り上げ平均は約16,000円。観光スポットであるため、来場は観光客が主だと思っていたが、「走る本屋さん」に立ち寄るかたの半数は地元の住民。図書購入の意欲は高く、話をしていると、幅広い世代で「学び」に対する積極性が感じられる。図書室も古いながらも、常駐職員がいるので対応はきめ細やかで、小さな子どもがいる世帯が活用している。一方で若者や高齢者で読書を趣味とする層は「書店志向」であることがうかがえる。隣の森町の書店まで車で片道約30分かけて行くという人もいて、地元で書店があればという要望は多い。

【3. 東日本大震災支援】

1) 宮城県女川町の暮らし文化調査・継承事業

主旨：本事業は、東日本大震災以前の女川町の「暮らし文化」の記録および継承を目的とし、2016年9月に「女川の暮らし」について、8名の町民のかたから聞き取った内容を、「女川町つながる図書館」と「宮城県立図書館」所蔵の郷土資料類と照らしながら、小学生でも気軽に読めるようにまとめた。

- ・運営主体・期間：一般社団法人北海道ブックシェアリング 平成28年6月～平成29年1月
- ・事業の成果品：冊子「おしえておながわのこと」400部
- ・成果品提供先：女川町教育委員会、一般社団法人女川町観光協会、宮城県内23の公立図書館

2) 宮城県女川町「民話を楽しむ会」の開催および資料作成事業

主旨：女川町の小学生へ民話を語り聞かせている町内団体「語りの会杉っこ」と協力して、同町の小学生が民話を聞いたり、学ぶことができるイベントを開催し、子どもたちが町の文化に触れ、親しめる機会を設ける。

- ・運営主体・期間：一般社団法人北海道ブックシェアリング 平成28年12月～平成29年2月
- ・事業の成果品：実施報告書 200部
- ・成果品提供先：女川町教育委員会、宮城県内のすべての公立図書館

【4. 映画上映】

1) ドキュメンタリー映画「飯館村の母ちゃんたち」（2016年、95分）上映の打診があり、ブックバード2F ばーどらんどのミニホールにて上映会を実施しました。

11月4日 午後6時～ 20名

11月5日 午前10時半～ 8名

2) 3月11日前後に、「東日本大震災」にちなんだ映画作品を国内各地の団体が自主上映する「3.11映画祭」（メイン開場・アーツ千代田3331）の北海道会場として、札幌、江別、千歳の3会場場で「太陽の蓋（2016年、130分）」を上映しました。江別会場では参加者によるトークセッションを実施しました。

- ・札幌開催 3月12日（日） 会場：わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）第1会議室
札幌市中央区北1西1 定員：60人 上映時間：開場/18:00
- ・江別開催 3月13日（月） 会場：ばーどらんど（江別市大麻銀座商店街ブックバード2F）
江別市大麻東町13 定員：20人 上映時間：開場/18:00
- ・千歳開催 3月15日（水） 会場：千歳まちライブラリー 研修室 千歳市幸町4丁目30
定員：30人 上映時間：開場/13:00

主催 一般社団法人北海道ブックシェアリング、日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合、わわプロジェクト

【5. 委員会・評議会・講演】

委員会 北海道生涯学習推進委員会（3回）
北海道こども読書推進会議（1回）
講演 北海道新聞社ぶんぶんくらぶ文化講演会講師 荒井
千歳まちライブラリー キックオフセミナー講師 荒井
3.11 チカホイベント講師 荒井
江別市定時制高校特別授業講師 荒井・竹次
札幌市役所新卒採用職員研修会講師 荒井

【6. パネル展・プロジェクト会議】

札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）で、本会の事業や活動を紹介するパネル展示を実施しました。

平成28年

5月9日～14日 北海道の無書店問題を考える

8月20日～22日 北海道の無書店問題を考える

12月21日～25日 北海道の無書店問題を考える

平成29年1月16日～19日 北海道の無書店問題を考える

2月23日～25日 女川の伝統・文化の紹介

北海道の無書店自治体を走る本屋さん事業についてプロジェクト会議を開催しました。

平成28年

9月6日 中間報告・意見交換会（札幌エルプラザ）

11月28日 2016年度活動報告・意見交換会（札幌エルプラザ）

【7. ボランティア等受け入れ】

ボランティア：北海道武蔵女子短期大学図書館探検部 11名 8月30日

インターンシップ：北海道教育大学岩見沢校 学生1名 8月16日～19日

【8. 協働事業】

大麻銀座商店街ブックストリート（大麻銀座商店街商業組合との共同事業）

平成28年 4月23、24日 5月28、29日 6月25、26日 7月30、31日 9月3、4日

10月1、2日 11月5、6日 ここまでいずれも土日開催 12月10日

平成29年 1月28日 2月25日 3月25日 いずれも土曜開催

※2月開催時に「フードコート」を設置し、飲食販売とフードコートを設けた。

【9. 実験書店ブックバード】

江別市大麻銀座商店街に平成28年2月に実験書店ブックバードを設置。もともとは走る本屋さんで使用する「やまびこ号」の駐車場として確保。建屋部分を書店として午後6時～午後9時に営業。平成28年10月に2Fを改装し、ミニホール「ばーどらんど」を開設。ブックストリート開催時の「読み聞かせ」「ビブリオバトル」などのイベント会場として利用。また映画上映、コミックフェア、読書会などを実施した。

売り上げは活動計算書を参照。次年度の活用計画については、新年度計画での別紙「北海道の読書環境整備に向けたネットワーク形成事業」を参照。

【10. その他】

TVH ゴールデンマーケット参加 バザーを実施 平成28年10月16日、12月18日

厚真町野外フェスティバル参加 バザーを実施 平成28年9月22日

恵庭手づくりマーケット参加 バザーを実施 平成28年9月29日

HTB イチオシまつり参加 本のばくりっこを実施 平成28年8月26～28日

3.11 札幌シンポ参加 パネル展、バザー、講演を実施 平成29年3月10、11日